

柔道部

6月8日(金)～10日(日)に第62回県高校総合体育柔道競技、兼第67回全国高等学校柔道大会県予選大会が、高砂市総合体育館で開催されました。

初日は女子団体戦から始まり、1回戦から強豪の相生産業高校と対戦し、敗れてしまいました。続く男子団体戦は、2回戦からの出場で、淡路三原高校を5対0で下し、初日を終了しました。

【女子団体登録選手】

3年岩山妃紗(伊丹市立北中)、1年並河静愛来(神戸市立夢野中)、高田ジェニファ(ガブリエリ(明石市立魚住中)、岡本優空(神戸市立御影中))



2日目は、3回戦から始まり津名高校に5対0、4回戦は高砂高校に3対0と勝ち進み、準決勝で神戸国際大附属高校と対戦しました。



当初より、準決勝からは極僅差の混戦が予想されていきました。

結果は、残念ながら0対1の僅差で敗れて、3位となっていました。

続いて女子個人戦が行われ、3年岩山妃紗が48kg級で3位に入賞しました。

3日目は、男子個人戦。本校からは25名もの生徒が、予選を勝ち抜いて6階級に出場しました。

60kg級・3年顕徳大晴

(優勝・明石市立望海中)、岸峻平(神戸市立塩屋中)、小野利玖翔(岡山市立興除中)、1年藤本昂気(神戸

市立玉津中)、船越皓太(北島町立北島中)、73kg級・3年高橋寛多(優勝・小野市立小野中)、共田誉(神戸市立神戸生田中)、1年小西雄大(明石市立野々池中)、山本剛(神戸市立御影中)、81kg級・3年山本大樹(尼崎市立小園中)、山下勝生(寝屋川市立第九中)、2年大國竜馬(和気町立和氣中)、1年赤尾均斗(高砂市立荒井中)、庵奥敬也(赤穂市立赤穂東中)、90kg級・3年柴原海斗(3位・たつの市立龍野西中)、野津友吾(神戸市立神戸生田中)、大垣亜嵐(同玉津中)、2年檜本真央(和気町立和氣中)、坂本龍星(伊丹市立天王寺川中)、1年村上拓馬(小野市立小野中)、100kg級・3年大原涼馬(明石市立望海中)、1年石井達也(たつの市立龍野西中)、井上康輝(神戸市立八多中)、100kg超級・3年小西貴大(3位・明石市立野々池中)、

加納怜治(姫路市立灘中)

【男子団体登録選手】

3年山下勝生、小西貴大、加納怜治、大原涼馬、柴原海斗、高橋寛多、顕徳大晴

生徒会役員選挙

6月11日(月)4時間目に生徒会役員選挙の立会演説会が行われました。今年、これまでになく6名もの生徒が立候補しました。

【立候補者】木下慶一郎(芦屋市立山手中)、古谷啓貴(加古川市立加古川中)、武内透空(同氷丘中)、山本琉輝也(西宮市立瓦木中)、川上史法(同西宮浜中)、田所和範(同鳴尾南中)、全員が2年生です。



ちょっと一言 「笑い」は、あらゆる動物の中で唯一人間に与えられた特権である。「笑い」で副交感神経が刺激されることによって、免疫力が上がってくるとの研究報告がある。免疫システム上、大変重要なリンパ球の一種であるNK細胞というものが、「笑い」によって活発化して免疫力が上がるようだ。人間の体内では毎日数百個～数千個のがん細胞が生まれているという説がある。発がんに至らないのはこうした免疫システムが働いているおかげかもしれない。逆に極めて高いストレス環境下では、交感神経が緊張状態となることで、免疫力が低下して、発がんの危険性が高まることになる。できるだけ質の良い「笑い」を楽しもう。